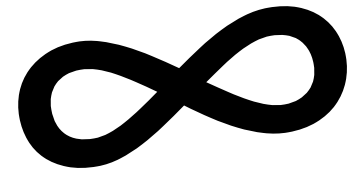


障 害 者 × ス ポ ー ツ 体 験 = 無 限 大
～ ス ポ ー ツ か ら 広 げ る 多 様 性 文 化 の 創 造 ～



○井上 渉(就労移行支援事業所INCOP京都九条 代表)
境 浩史(株式会社島津製作所 人事部 シニアエキスパート)

就労移行支援事業所INCOP京都九条

- 2023年2月に開所
- 社訓「やってみよう！」
- 「ミニ実習」が大きな軸の「超実践型トレーニング」
- 就労だけでなく「WorkとLifeのINCOP」



チームとの連携

SHIMADZU Breakers (トップウエストAリーグ所属)

株式会社島津製作所とは、私が特別支援学校勤務時からつながりがあり、実習、雇用と連携していた。また、島津製作所が主催した障害者向けのテニス教室実施でも連携をしていた。

“Breakers”のニーズ	“INCOP”のニーズ
<ul style="list-style-type: none">▪ 選手が試合に集中したい▪ ホームゲームの運営を充実したい	<ul style="list-style-type: none">▪ 利用者の体験の場を増やしたい▪ スポーツで見識を広げたい

“Breakers”と“INCOP”のニーズを組み合わせ、まずは、ホームゲームの準備、片付け、また試合中の選手の水分の補充といった試合中のサポートを“INCOP”とともにやってみようとスタートした。

チームとの連携

SHIMADZU Breakers (トッポウエストAリーグ所属)

- 回数を重ねることでチームとの信頼関係ができる
→ 任される内容も増えた
- うまくサポートをするために利用者同士で話し合う場面も
→ 話し合った工夫をチームに伝え、共有し環境改善
- 「レッズ」としてチームの一員として位置づけ
→ 利用者の帰属意識を高め、誇りを感じている方も
→ 一層の自己効力感を得ることに
- チームを「支える人」そして「応援する人」に
「成長していく」

スポーツを通して「プレーする人」「支える人」
「応援する人」が
障害を越えて連携し、勝利を目指し、共有していく

「多様性文化の創造」

スポーツ体験には、この文化を色々な場所に広げて、
大きくしていく力や可能性がある

スポーツを通じて企業間での関係が深まった
→ 一緒にすることだけがスポーツの価値ではない
→ 新しい スポーツ価値 の再定義に